

## 住宅用地申告書の書き方

○年 1月 20日 記載例

住所 福岡市中央区天神1丁目8-1

氏名 福岡太郎

申告者 又は名称 福岡太郎

電話番号 711-4111

①	②	中央 区	天神1丁目321番地	2	地積	198.76	所有者氏名 又は名称	福岡太郎
	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
1	住宅用 建物番号	天神1丁目 321-2	専用住宅 アパート 農家住宅 寄居宅 併用住宅 (外 棟)	木造	延床 147.12	延床 147.12	所有者氏名 又は名称	福岡太郎
2	住宅用 建物番号		併用住宅 (外 棟)	造	戸数 1	戸数 1	所有者氏名 又は名称	福岡太郎

この申告書は、住宅用建物の新増築など申告事由の発生した翌年の1月31日までに、当該住宅用地所在の区役所（課税課）へ提出してください。

- ① 建物の敷地ごとに書いてください。ただし、同じ敷地内に種類の異なる建物がある場合（一戸建ての専用住宅と店舗兼住宅などの併用住宅が建っている場合など）は、それぞれの建物ごとに区分して書いてください。なお、同じ種類の建物の場合は区分する必要はありません。
- ② 「住宅用地」の欄は、建物の敷地について、所在地、地積及び土地の所有者名（登記上の所有者）を書いてください。敷地が数筆に分かれているような場合は、同じ敷地内の土地はもれなく書いてください。
- ③ 「家屋番号」の欄には、登記された建物の番号を書いてください。なお、登記されていない建物は家屋番号がありませんので「未登記」と書いてください。
- ④ 「種類」の欄には、建物の種類の該当するものに○印を付してください。なお、敷地内に、同じ種類の建物が数棟建っている場合（専用住宅が2戸建っているような場合など）は、（外 棟）の欄にその棟数を書いてください。
- ⑤ 「構造」の欄には、建物の構造の該当するものに○印を付してください。
- ⑥ 「地上階数」の欄には、建物の地上階数（地階部分の階数は除きます。）の該当するものに○印を付してください。
- ⑦ 「戸数」の欄には、住宅の戸数を書いてください。なお、アパート、マンション、寮などの共同住宅の場合は、居住のために独立的に区画された部分をそれぞれ1戸として計算してください。（例えば、4世帯住めるアパートの場合は4戸となります。）
- ⑧ 「延床面積」の欄には、建物の全体の床面積を書いてください。なお、店舗兼住宅などの併用住宅の場合については、住宅部分の床面積と住宅以外のその他の部分の床面積及び合計の床面積を書いてください。（建物が2棟以上ある場合は、それぞれの建物の床面積の合計となります。）
- ⑨ 「所有者」の欄には、建物の所有者名（登記された建物は登記上の所有者）を書いてください。
- ⑩ 「住宅の用に供した年月日」「建築年月日」の欄には、住宅として使用を始めた日及び建物を建築した日を書いてください。

※②の地積、所有者は、土地の登記簿謄本などを参考にして書いてください。

全部事項証明書 (土地)

表題部 (土地の表示)		調整	余白	不動産番号	123456789
地図番号	余白	筆界特定	余白		
所在	福岡市中央区天神一丁目			余白	
① 地番	② 地目	③ 地積 m <sup>2</sup>	原因及びその日付(登記の日付)		
321番2	宅地	② 198.76	321番1から分筆 〔〇〇年〇月〇日〕		

※②の所在地、③～⑩は、建物の登記簿謄本などを参考にして書いてください。

全部事項証明書 (建物)

表題部 (主である建物の表示)		調整	余白	不動産番号	123456789
所在図番号	余白				
所在	福岡市中央区天神一丁目321番地2			余白	
家屋番号	321番2			余白	
① 種類	② 構造	③ 床面積 m <sup>2</sup>	原因及びその日付(登記の日付)		
居宅 ④	木造瓦葺二階建て ⑤⑥	1階 73.56 2階 73.56 ⑧	⑩ 〇〇年11月2日新築 〔〇〇年〇月〇日登記〕		
所有者	福岡市中央区天神一丁目8番1号 福岡太郎 ⑨				

権利部 (甲区) (所有権に関する事項)			
順位番号	登記の目的	受付年月日・受付番号	権利者その他の事項
1	所有権移転	〇〇年〇月〇日 第〇号	原因 〇〇年〇月〇日売買 所有者 <u>福岡太郎</u> ②